

今号のテーマ 道路用砕石の規格・基準の変遷

日本の明治時代までの道路は、敷石または河川砂利を敷きならしただけの道路でしたが、大正初期に米国からアスファルト舗装工法が導入され、これに必要な人工的な砕石の生産が行われるようになりました。そして道路用砕石の規格や基準も制定・改定を繰り返し、1977年には現在の道路用再生砕石の品質基準の元となる「廃コンクリート回収骨材の路盤材としての品質基準」が日本道路協会により設けられました。今号では、これら道路用砕石の規格・基準の変遷について解説します。

日本における道路用砕石の規格・基準の変遷

1930年以前の東京市道路用砕石基準に始まる道路用砕石の規格・基準の変遷を下表に示します（黄色網掛けは、再生砕石に関係するもの）。

西暦	規格・基準等の名称
1930以前	シートアスファルト舗装標準仕様書（東京市土木局）
1930	シートアスファルト舗装標準仕様書（道路研究会）
1930	東京砕石業組合の合格判定
1931	舗装用砕石規格の実例（東京市道路課）
1931	砕石規格案（道路研究会委員会）
1931	アスファルトコンクリート舗装道示方書（内務省土木局）
1931	セメントコンクリート標準舗装示方書（道路研究会）
1932	セメントコンクリート舗装道示方書（内務省土木局）
1949	土木学会示方書（道路）
1952	JIS A 5001（道路用砕石） 制定
1953	アスファルト舗装要綱制定（日本道路協会）
1955	セメントコンクリート舗装要綱制定（日本道路協会）
1956	土木学会示方書（舗装）
1961	アスファルト舗装要綱改訂（日本道路協会）
1961	JIS A 5001（道路用砕石）改正
1964	セメントコンクリート舗装要綱改訂（日本道路協会）
1965	JIS A 5001（道路用砕石）改訂
1970	JIS A 5001（道路用砕石）改訂
1970	廃棄物処理法制定
1972	セメントコンクリート舗装要綱改訂（日本道路協会）
1974	土木学会示方書（舗装）
1977	再生骨材および再生コンクリートの利用基準（全国建設業協会）
1977	廃コンクリート回収骨材の路盤材としての品質基準（日本道路協会）
1984	舗装廃材再生利用技術指針（案）（日本道路協会）
1986	土木学会示方書[舗装・ダム編]
1988	アスファルト舗装要綱改訂
1991	「再生資源の利用の促進に関する法律」でコンクリート塊が建設副産物に指定
1992	プラント再生舗装技術指針（日本道路協会）
1994	再生路盤材の品質基準 制定（建設省通達）
1995	JIS A 5001（道路用砕石）改正
2004	舗装再生便覧（日本道路協会）

【出典】

- 1) 岩崎孝：廃コンクリートからの骨材再生とその問題点、資源と素材、Vol.114、1988
- 2) 吉兼亨：道路用再生骨材の性質、コンクリート工学、Vol.35、No.7、1997
- 3) 阿部道彦 他：コンクリート用砕石・砕砂の規格・基準の変遷に関する調査、日本建築学会技術報告集、第27巻、第67号、2021年10月